

Lecture 授業No.24 教科書P.43～

T.Q.「春秋時代と戦国時代で
諸侯の生き方はどう変化したか？」

向出 研司：石川県立寺井高等学校
地歴公民科教諭

直前予習 T. A. キーワード確認

教科書 P.44

T.Q.「春秋時代と戦国時代で
諸侯の生き方はどう変化したか？」

1. 周王
2. 戦国の七雄(しちゆう)
3. 鉄製農具
4. 牛耕
5. 青銅の貨幣
6. 実力主義

クリックで全て



今日の授業ラインナップ。

1. 中国の乱世と下剋上
2. 春秋時代の特徴
3. 戦国時代の特徴

経済：**鉄製農具**と**牛耕農法**の普及

cf. 諸国で開拓地拡大

——— **ここから**

青銅貨幣の流通 ex. 布銭 ※5

政治：**豪族**の台頭

地方で大土地所有

(4) 文化... 諸子百家 ※6

(5) 秦の台頭

...B.C.4C、**商鞅**の改革により「富国強兵」

法家の学者 ※7

ex. **郡県制**と官僚制で中央集権体制へ ※8

比：それまでの邑制や封建制は地方分権

最後のスライドはここまで！

※T. A. まとめスライドへ

T.Q.「春秋時代と戦国時代で諸侯の生き方はどう変化したか？」 教科書P.43～

※1

2 春秋時代の中国(前770~前403年)

クリック①:
犬戎

クリック②:
中華思想

中華思想

北狄

西戎 中華 東夷

南蛮

(P94)

中国では、一般的に周辺諸民族を東夷・西戎・南蛮・北狄として蔑視した。



● 中国古代の歴史に由来する故事成語

クリックで
「ぎゅう
じる」の
語源と
覇者の
関係

酒池肉林 しゅ ち に くりん 夏かの最後けつおうの王桀王や殷ちゆうおうの最後ちゆうおうの王紂王が、池に酒を満たし、食用の肉を吊りさげて林に見たて、長夜の宴会を開いた。

太公望 周の文王いすいが、渭水で「釣り」をしていた呂尚りょしやうを「父の太公が望んでいた有能な人物」と言って、彼を「太公望」として尊敬した。

虎の巻 とら まき 西周初期の軍師太公望たいこうぼうの兵書『六韜』(文韜・武韜・竜韜・虎韜・豹韜・犬韜)の一巻虎韜から、兵法の秘伝を記した書物を指す。

牛耳を執る ぎゅうじ と 春秋時代、諸侯が盟約する時、盟主が牛の耳を執り、裂いて血をすすりあい、神に誓いをたてた。「牛耳る」ともいう。

呉越同舟 仲なつの悪い呉の人と越の人が、1つの舟に乗り合わせ川を渡る時に大風が吹いた。呉の人も越の人も必死に助け合った。

臥薪嘗胆 が しんしょうたん 呉王夫差ごおう ふ さは薪たきぎの上に伏しふ、父闔閭こうりょの怨みうらを忘れまいとした。

越王勾踐えつおうこうせんは苦きもい胆なを嘗め、会稽山かいけいでの敗北はじの恥を忘れまいとした。

※4①

Next

クリックで、写真

→ 戦国時代の鉄
製鎌の鑄型 鉄
鎌は雑草を刈る
のに便利で、鉄の
犁とともに土地
開拓に役立った。



※4②Back

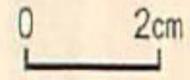
クリックで、写真



ぎゅうりこう 牛犁耕 戦国時代、おもに新興地主が使用した鉄製の刃をつけた牛犁は、深耕を容易にし荒地を開墾し耕地面積を拡大した。また、人工灌漑と施肥が普及し、品種の選定や改良の研究も進み農業生産は急速に拡大した。

●青銅貨幣()内は流通圏

※5



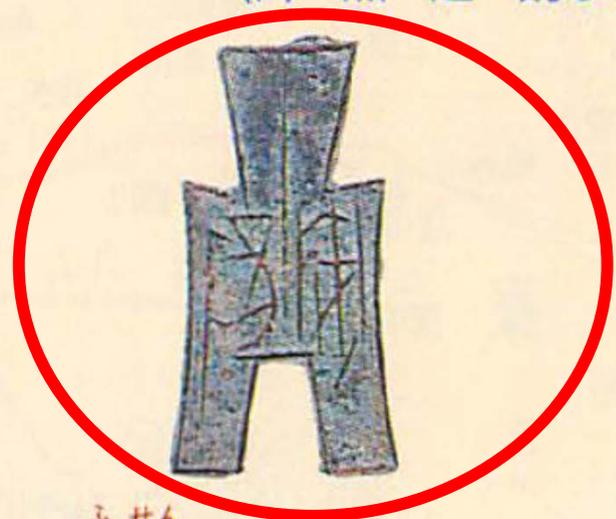
とうせん
↑刀銭
せい えん ちょう
(齊・燕・趙・魏など)



ばいか
↑貝貨
(殷・周)



えんせん
↑円銭(環銭)
(周・秦・趙と
魏の黄河沿い)



ふせん
↑布銭…農具の形を模す
(韓・魏・趙) 布 = 罽(鋤の意)



ぎびせん
↑蟻鼻銭(楚)

クリックで、農具の形をした布銭

7 諸子百家

クリック①・②で、有名なもの

学派	人物	内 容	青字=代表的著作
儒家	孔子 孟子 荀子	仁(人間愛)と礼(礼儀)による国家が理想 性善説。王道政治(聖王の政治)を理想 性悪説。君主による民の教育を是認	『論語』 『孟子』 『荀子』
道家	老子 荘子	無為自然を主張。文明や努力を否定 自然と一体となった自由な人生を理想	『老子』 『荘子』
墨家	墨子	兼愛(無差別・平等な愛), 非攻(非戦)を主張	
法家	商鞅 韓非	法治主義を主張。秦の孝公に仕え, 改革を推進 法家思想を大成。同門の李斯に殺される	『韓非子』
陰陽家	鄒衍	天体と人間生活の関係を陰陽五行説にまとめる	
縦横家	蘇秦 張儀	6国を縦に連合して秦に対抗させる 秦を6国のそれぞれと衡に連合させる	(合従策) (連衡策)
兵家	孫子 呉子	戦略・戦術を中心に国家経営なども説く 孫子と並び, 「孫呉」とよばれる	『孫子』 『呉子』



自分のつくった法で処刑された商鞅

しょうおう

商鞅は、秦の孝公に^{つか}仕え、大幅な国政改革(变法)を行った。農民家族を五戸・十戸単位に再編成し(什伍の制)^{じゅうご}、軍功(手柄)に応じて庶民にも^{しやくい}爵位を授け、手柄のない貴族から特権を^{はくだつ}剥奪し、法の違反者には厳罰を加えた。

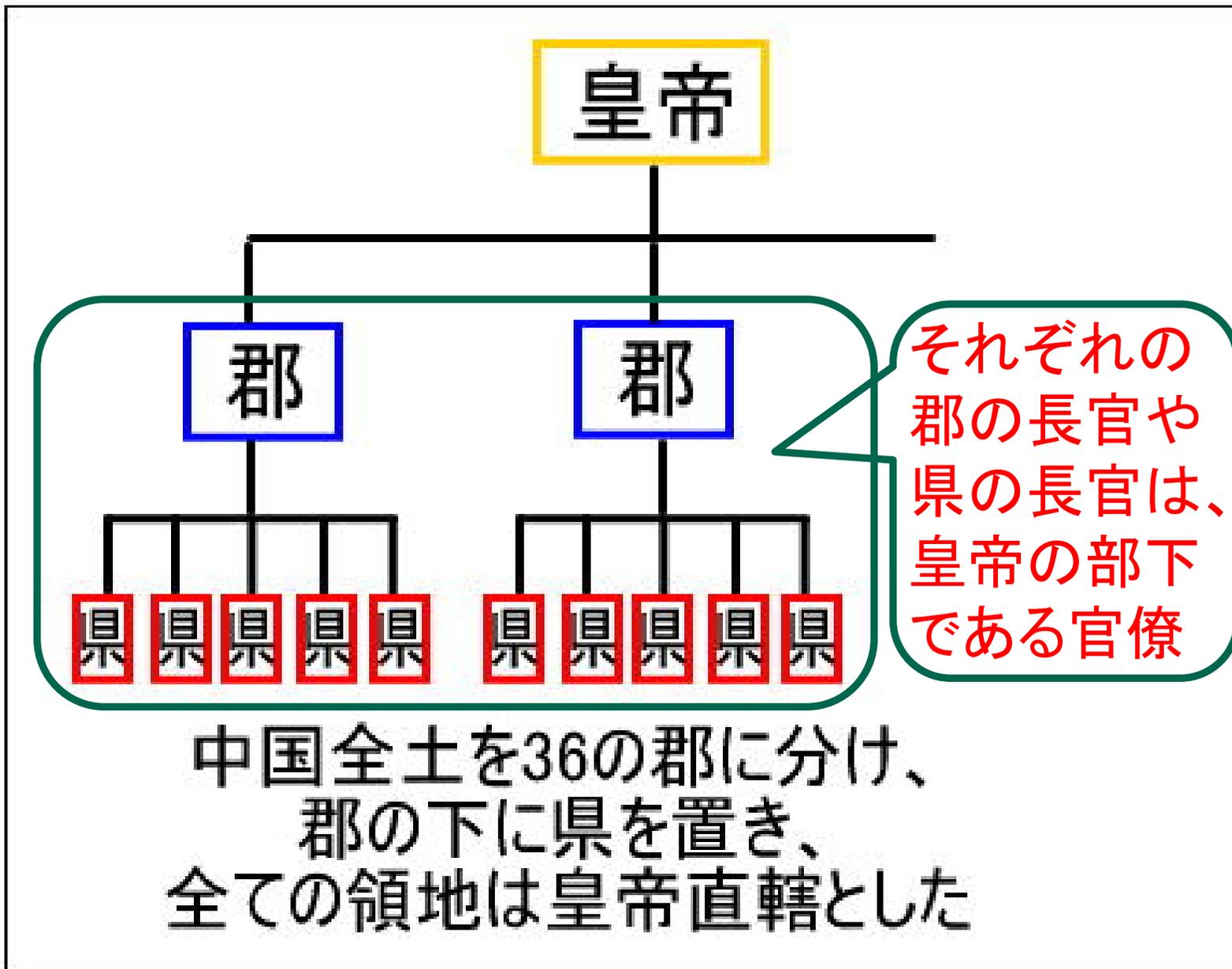
こうした信賞必罰と法治主義で秦は一躍発展したが、孝公が死ぬと商鞅は反対派に追われる身となった。しかし、「証明書を持たぬ旅人を泊めると同罪となる」という商鞅自身の定めた法律のために、夜通し歩かねばならず、追手に捕まり、自分の定めた車裂きの刑に処せられた。

➡商鞅(?～前338) (着色)



クリックで、車裂きの刑

クリックで、
郡県制と
官僚制の
関係



Lecture 授業No.24

T.Q.「春秋時代と戦国時代で諸侯の生き方はどう変化したか？」

春秋時代では周王はまだ王として尊ばれていた。しかし、周王が晋の三分裂を認めただために下剋上の世の中になり、春秋時代では覇者と呼ばれていた有力諸侯が、それぞれ王を自称する戦国時代となった。そして激しい興亡の後に燕・斉・趙・魏・韓・楚・秦の戦国の七雄が生まれ、最後に秦が中国を統一した。